

コース12 たてやま ゆき おおたに いけ 立山・雪の大谷・みくりが池

リーダー CL T/K SL S/K
 実施日 令和元年5月11日(土)
 天候 晴れ グレード A上
 参加者 18人(男性 5 女性13)
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
荻川駅東口		5:50	新津駅、区役所経由新津西スマートIC 流入
有磯海 SA	9:00	9:15	休憩
アルペン村	9:35	9:50	休憩、登山準備、立山 IC 流出
室堂バスターミナル	11:05	11:45	雪の大谷散策、雪壁の高さ 15m、記念撮影
みくりが池	12:10	12:50	昼食、雄山、剣岳の眺望良し
室堂バスターミナル	13:25	13:35	登山装備脱着
アルペン村	14:45	15:05	休憩、買物、立山 IC 流入
有磯海 SA	15:30	15:50	休憩、買物
荻川駅東口	19:10		区役所、新津駅経由新津西スマートIC 流出

山行等概要(幹事のコメント)

- 天候もよし、雨の心配なさそう。少し早めの出発。最初の休憩場所の米沢 SA に着くと新潟楽山会の西穂独標に行かれる一行がおられ、その中に知人もいたので少し会話をし、次の休憩地有磯海 SA へ向かう。
- 有磯海 SA に向かう途中、楽山会一行を追い抜き我々が先に到着。用事を済ませ、人数確認をしている際、いい匂い、揚げたてのコロッケを食べている人がいたので、帰りに



室堂にて

- にまた立寄ると思い、運転手に越中境 PA を有磯海 SA に変更を申し出て次の休憩地へと向かう。
- アルペン村に到着。人が大勢いる。バスも多く駐車、これが全部室堂に行くのかと思うと先が思いやられる。登山装備を整えてバスに乗車。
- 立山有料道路入口ゲートで料金を支払い、いよいよ目的地へバスで 2,450m の雲上の別世界に向かう。上に行くほど雪の壁が高くなり、追分料金所を過ぎると前を走っているバスより高い雪の壁。周囲の景色がだんだん見えなくなってくる。
- 目的地の室堂に到着。凄い人。何百人いるのだろう。とりあえず、雪の大谷の散策を開始するが、歩くにもままならず。最後まで行かずに途中で引き返す。早目にみくりが池に向かう

とするが、屋上に上る階段は人でいっぱい。屋上から下の広い駐車場の端まで人の列、屋上に行くのにどのくらい時間がかかるか気になる。暫くすると列が途切れたので、やっと屋上に向かうことが出来る。屋上に着いても人、人である。みくりが池に向かうが人の列で思うように歩けない。

- みくりが池に到着。ここも人でいっぱい。各人場所を見つけて昼食を摂る。天気が良いので雄山、剣岳が綺麗に見える。特に立山の主峰雄山の雄山神社峰本社らしきが見えるので、昔友達と登った峰本社でお祓いしてもらった事を思い出し懐かしかった。昼食後は室堂山荘経由で帰る予定でしたが、みなさん疲れたためかもう帰ろうと声が出たので来た道を帰ることにした。
- バスターミナルに早目に到着のため、運転手さんが仮眠のところを起こし申し訳ございませんでした。登山装備を脱着し早めに出発。
- 有磯海 SA に立ち寄り。富山名産ます寿司を買い求め、最終休憩地の米山 SA へ向かう。米山 SA で休憩後バスのところに帰ってくると、隣に見覚えのあるバス、樂山会の人達である。飯縄山の帰りだとのこと。よくお世話になるリーダーご夫妻に挨拶を済ませ帰路に着く。予定より早く到着。運が良ければ雷鳥に会えるかと少し期待して行っただけですが、あまりにも天気がよく、あの人混みなので無理でした。参加者の皆さんお疲れさまでした。



バスより高い雪の壁



みくりが池温泉と剣岳を望む



みくりが池での食事風景

「立山・雪の大谷ウオーク」に参加して

1638 C/F

出かける時は、晴れが一番。山行などは特にそうだ。天気予報は晴れ、でも立山・雪の大谷は標高があるので、寒さばかりが心配した。荻川駅6時集合。道路は空いているので順調、アルペン村で靴を履き替えて立山有料道路へ。10連休はさぞ混雑しただろうと思いながらバスまかせに進む。道の両側に雪がだんだん高さを増し、土の所にフキノトウがいっぱい。やっと春の感じ。途中窓越しに称名滝も見ることができた。



雪の大谷散策 壁の高さ 15m

雪の高さに驚いていると室堂バスターミナルに着いた。大勢の人、バスも30台以上、会話している言葉も色々でアジア系が多いかな？私達も大谷まで自由散策。雪の壁に触れたり、写真を撮ったり、雪の高さは、多いところは15m位だそうだ。新潟育ちでも、これ程の雪の壁は初めて。十分楽しんでターミナルに戻った。皆の集合を待ってホテル立山の前を通り抜け反対側へ出ると風の向きなのか、地獄谷の硫黄臭がした。

ざくざくした雪は歩きにくくスキーヤーが追い越して行った。みくりが池は火山活動の水蒸気爆発によってできた噴火口に水が溜まったとか。周囲630m、水深15mとまだ雪の中に眠っていた。みくりが池温泉のテラスで昼食。投げ出した足は日差しで暑かった。昼食、おしゃべり、おやつ、時間は直ぐ過ぎる。池の周りを行くのを止めてピストンでターミナルへ。下りは滑りやすかったが帰りの登りはなお悪くストックを使用した。どの位の積雪があるのかとストックを雪に刺した人がいたがストックどころでは無い様だった。雷鳥スポットがあると聞いたが悪天候のとき見られるらしい。偽物の雷鳥と一緒に写真を撮ってもらった。楽しみだ。天気恵まれ立山連峰を真近に山小屋まで見られた。



一班の皆さん 室堂にて



二班の皆さん 室堂にて



三班の皆さん 室堂にて

リーダー、サブリーダー、ご一緒の皆さんありがとうございました。